

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 組

教科担当者：（1組：富田薫）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（新編 言語文化 改訂版（大修館書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書き言葉話し言葉を正しく理解し身に付け、伝え合う力を高めることによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしており、言葉に親しむことで自己を向上させ言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学 期	A 単元「言葉の森を育てよう」 【知識及び技能】 日常使っている言葉を見つめ直し、正しく修正する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が果たしている役割の違いを見抜く。【学びに向かう力、人間性等】 よりよい伝え方について考える。	・指導事項 エッセイを読む 日本で受け継がれてきた自然観や美意識について、筆者の主張をとらえる。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	B 単元「日本語の豊かさ再発見」 【知識及び技能】 日常使っている言葉を見つめ直し、正しく修正する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が果たしている役割の違いを見抜く。【学びに向かう力、人間性等】 よりよい伝え方について考える。	・指導事項 エッセイを読む 季節に興味をもつとともに、日本独特の自然の味わい方について、自分の考えを深める。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	12
	定期考査					○	○			1
	C 単元 古典への招待 【知識及び技能】 古文の読み方を知る。【思考力、判断力、表現力等】 古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。【学びに向かう力、人間性等】 古典と現代の言葉のつながりから心を理解する。	・指導事項 古文のなりたち、仮名、発音について学ぶ ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	12
	D 単元 古典を知る 【知識及び技能】 古語の意味や背景を知る。【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方を捉え、内容を理解する。【学びに向かう力、人間性等】 時代を問わない人の心を知る。	・指導事項 エッセイを読む ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	11
定期考査					○	○			1	
2 学 期	E 単元「文化を見つめる」 【知識及び技能】 身の回りの言葉と現象の関係を見つめ、言語と結びつける。【思考力、判断力、表現力等】 文化の歴史と役割を考える。【学びに向かう力、人間性等】 自分が守りたい文化を考える。	・指導事項 エッセイを読むことで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深める。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント		1		22
	F 単元 物語を受け継ぐ 【知識及び技能】 語句の意味や時代等の背景を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の気持ちを理解する。【学びに向かう力、人間性等】 他者の気持ちを推察して寄り添う。	・指導事項 小説を読む 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、自己と比較して振り返る。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等			○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	21
	定期考査					○	○			1
3 学 期	G 単元「旅への思い」 【知識及び技能】 日常使っている言葉を見つめ直し、正しく修正する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉が果たしている役割の違いを見抜く。【学びに向かう力、人間性等】 よりよい伝え方について考える。	・指導事項 エッセイを読むことで文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解を深める。 ・教材 教科書、国語便覧、プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】 ・定期テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント				27

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：（1組：西田 真）

使用教科書：（教育図書 公共702）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、および現代世界の諸課題について基礎的な知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、議論する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】人間としての在り方や生き方についての自覚や、公民としての資質・能力を育成する。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人類が近代以降に獲得してきた自由権をはじめとした様々な権利や、哲学、倫理的な基礎知識を習得する。政治、法律、経済についての基礎知識を身に付け、主体的に生きる力の基盤を形成する。	公共に関する様々な事象について主体的に考察し、自らの考えを表現する力を育成する、他者との対話を通して、自らの考えを深め、よりよい判断が出来る力を育成する。	現実社会の諸課題を、より民主的社会的創造を視野に入れて主体的に解決する力を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 公共の扉 【知識及び技能】 公共的空間の主体として、社会の形成の結び付きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を踏まえて、公共的空間がどのように構成されているのか考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。	(1)公共と人 ・人は1人では生きられない(公共的空間) ・人はどのようにつながるのか(交換によるつながり) ・自由と正義の実現を目指して(自由主義と正義論) ・対話から生まれる公共(市民的公共圏の成立) ・宗教と人間(三大宗教)	【知識・技能】 ・公共と人について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を踏まえて、公共的空間がどのように構成されているのか考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	A 公共の扉 【知識及び技能】 公共を倫理的視点から捉え、結び付きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、功利主義と義務論を踏まえて思考し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 倫理的な視点を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	(2)公共と倫理 ・功利主義と義務論(ベンサム、カント、ミル) ・地球温暖化問題(地球温暖化の原因と異常気象、パリ協定と主要国の二酸化炭素排出量、日本の発電の特徴と地球温暖化に対する考察)	【知識・技能】 ・公共と倫理について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、功利主義と義務論を踏まえて考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	10
公共の扉 【知識及び技能】 意思決定の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、意思決定の過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	(3)公共の基本原則 ・生徒会予算をどう分配するか ・意見が分かれた時どう決めるか ・意思決定の方法について考える	【知識・技能】 ・意思決定の方法について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	11	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	民主主義の歴史 【知識及び技能】 憲法や民主主義に関する基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・人権の成立に至る過程を捉える(社会契約説・市民革命) ・日本国憲法の3原則、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義 ・大日本帝国憲法との違い ・表現の自由とヘイトスピーチ	【知識・技能】 ・憲法や民主主義について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	9
	民主主義と選挙制度 【知識及び技能】 日本の選挙制度に関する基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・民主主義とは ・衆議院選挙と参議院選挙 ・一票の格差 ・公職選挙法と選挙運動 ・世論調査	【知識・技能】 ・選挙制度について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	○	○	○	18
	日本の司法制度 【知識及び技能】 日本の司法制度に関する基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考	・裁判官の在任中の身分保障と独立 ・三権分立 ・国民の司法参加 ・裁判員制度 ・少年法 ・刑事裁判と民事裁判	【知識・技能】 ・司法制度について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に、事例を考	○	○	○	8

察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・ 刑罰の目的	え、文章や図などで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。	◡	◡	◡	◡
定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>法と社会</p> <p>【知識及び技能】 法に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> マナー、ルール、法律の違い 様々な契約 契約の成立 インターネット通販 消費者の権利と契約 消費者トラブル防止 消費者の権利と契約、事例検討 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。 	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>職業選択</p> <p>【知識及び技能】 職業選択に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意味 産業構造の変化 起業とベンチャー企業 A I 雇用と労働 メンバーシップ型雇用とジョブ型雇用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業選択について、基礎的な知識を身に付け、資料を適切に読み取ることができているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。 	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
							合計
							86

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組

教科担当者： （1組：木村）

使用教科書： （数 I 708 「高校数学 I」 実教出版）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

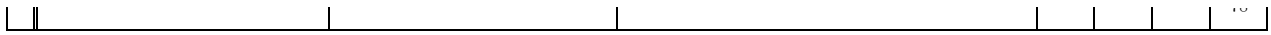
【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 章 数と式 1 節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開 6. 因数分解 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 ・教科書p.12～17は中学校の復習であるが、用語「整式」「項べきの順」は高校で学ぶ。 ・教科書p.23「やってみよう」の式は、数学IIで学ぶ。	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解に関心を持ち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乗法公式や因数分解の公式が利用できることに関心を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 （授業態度・課題提出）	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
2 節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理	1	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 （発問評価・課題提出・定期考査）				

<p>解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。 		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$\sqrt{\quad}$を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。 <p>(授業態度・課題提出)</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：（1組：内田 中村）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間との課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の歴史やルールを知り、簡単な動きから複雑な動きを習得できるようにする。其々の運動種目の体の動きの着目し、より効果的かつ合理的な体の使い方ができるようにする。	体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。	運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ・卓球	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 水泳	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
2 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 水泳 陸上	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ・バレーボール ・バドミントン	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
3 学期	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 球技 ・バスケットボール 持久走	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に	○	○	○	14

し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。

合計

78

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組

教科担当者： 1 組 橋岡昭男

使用教科書：（ 光村図書 美術 I ）

教科 芸術 の目標： 芸術文化に理解を深め生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる

【知識及び技能】中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適用適所の使い方を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】発想から完成までの計画性と創造的な技能で感性を高める。

【学びに向かう力、人間性等】自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現する。

科目 美術 I の目標： 感性や想像力を働かせて心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え構想する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中学校美術科の基礎に立ち高校生の造形的な意識の向上と素材への適用適所の使い方を身に付ける。	発想から完成までの計画性と創造的な技能で感性を高める。	自分なりの発想や構想で表現の工夫をして個性豊かな表現する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	知	思	態	配 当 時 数	
			絵 ・ 彫	デ 映							
1 学 期	「見る 感じ取る 考える 表す」 高校美術 I のイメージを持ち美術の 学びの意味や広がりについて考える	美術学習のオリエンテーション 授業内容、必要な用具や材料教科 書の説明	○	○	○	○		○	○	○	6
	プリントの図形を的確に理解し表現 すること プリントの線を守りな がら丁寧に1つずつ明度をつける	立体の意識 正面・側面・上面3方 向からの図形から立体を描く グ ラデーションの練習	○	○				○	○	○	6
	白と黒が隣り合うときの明暗や線が 長短に見える錯覚の理解 補色についての理解 色彩について基本事項を学ぶ調和や 対比に	目の錯覚 幾何形体の理解 色相環のプリントを絵の具を使っ て塗る	○	○				○	○	○	10
	3方向からの光を意識して立体を組 み立て構成する ねじれや上・側面の明暗での把握 (明度の段階に分ける) アクリル絵の具の使い方や明度によ る色彩表現方法	3次元・四次元の立体 白黒(鉛筆)による3・4次元の立 体色彩による3・4次元の立体	○	○				○	○	○	8
2 学 期	色彩の効果によって個性豊かな色味 と感性ができることを学ぶ 感性や想像力を働かせて主題を生成 し創造的な表現の構想を練る	春夏秋冬をイメージした色彩 プリントの樹を一つずつ丁寧に塗 る 動物を使ったマークを考える	○	○		○		○	○	○	12
	主題を主体的に追求することでより 深く内容を把握できるようにする	パズルに生徒が興味や関心を持て るように漫画やアニメーションの キャラクターを取り上げ作品を仕 上げる	○	○	○	○		○	○	○	12
3 学 期	鉛筆によるトーンの練習 明度の境 界を見極めて線が引け表現出来たか	写真を使った鉛筆による模写 雑誌のグラビアから興味のある題 材を基に描く						○	○	○	12
	トーンの練習により形を線ではなく 面で捉える指導をし、次の課題に生 かせるようにする	写真を使った鉛筆による模写 により立体感を学び明度の微妙な 色あいを学ぶ						○	○	○	12

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組
 教科担当者： (1 組： 山口 貴司)
 使用教科書： (実践 情報 1 (開隆堂))

教科 情報 の目標：
 【知識及び技能】 コンピュータの活用、リテラシーを身につけている。また、情報社会や効果的なコミュニケーション、著作権、個人情報保護やデータの活用、プログラミングについて理解している。
 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを用いた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に用い、様々な情報を取捨選択できるスキルを持ち、理解できる力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようという力を養う

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータの活用、リテラシーを身につけている。また、情報社会や効果的なコミュニケーション、著作権、個人情報保護やデータの活用、プログラミングについて理解している。	コンピュータを用いた効果的な情報伝達、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切に用い、様々な情報を取捨選択できるスキルを持ち、理解している	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようという力があるか

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 コミュニケーション 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を理解し、問題解決のプロセスを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な表現メディアを判断することができ、問題解決のプロセスを適切に判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報やメディアの特性を理解している。	・指導事項 情報とメディアの特性、発想法、情報モラル、個人情報の流出、傷つけない傷つかないために、著作権、情報技術の発展、情報化と私たちの生活の変化、より良い情報社会へ ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】メディアの特性を理解し、情報を効果的に活用することができる。問題解決のプロセスに、情報技術の効果的な活用方法を知っている。 【思考・判断・表現】 情報伝達に対して、適切な表現メディアを選択することができる。身近な問題について、問題解決のプロセスを踏みながら、次の問題解決に生かす方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 適切なメディアを選ぼうとしている。身近な問題について、情報をどのように活用したらよいか考えようとしている。	○	○	○	8
単元 情報デザイン 【知識及び技能】 文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを活用する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 情報デザインの趣旨を理解し、その上で相手にとってわかりやすく表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作成した作品を見せ合い、相互評価して改善を行うようにしている	・指導事項 アイディアの大量生産、検索のコツ、言葉で図形を伝達、色の三原色を伝達、光の三原色を体験、ピクトグラム、図解表現、Webニュースページ、映像制作、ユニバーサルデザイン、情報収集の選択と判断、著作権 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 文書処理、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを活用し、短時間で効果的に活用する技能がある。 【思考・判断・表現】 情報デザインを意識しながら、わかりやすい文書作成や表計算、プレゼンテーションソフトウェアで表現することができる。また、著作権に配慮して作品を作ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 作成した文書、ワークシート、スライド等を相互評価をし、改善方法について考えようとしている。	○	○	○	12
単元 情報通信ネットワーク・情報セキュリティ 【知識及び技能】 ネットワークの仕組みについて理解し、どのように活用されているか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データの流れやネットワークの仕組みを適切に理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にあるデータの流れを理解するとともに情報セキュリティについて高い意識を持つようになる	・指導事項 ネットワークとインターネット、インターネットの仕組み、サーバーとクライアント、インターネット上のサービス、情報セキュリティー ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ネットワークの仕組みがどのように活用されているかに関する知識を深く理解し、ネットワークの全体像を把握する。 【思考・判断・表現】 ネットワークの流れを多角的に分析して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットワークの理解を理解した上で、最新の情報セキュリティにどのようなものがあるのかを考え、日常生活のネットワーク活用について考えることができる。	○	○	○	10

<p>1 学期</p>	<p>単元 デジタル化 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みやソフトウェア、論理回路を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 圧縮方法、論理回路、画像処理を表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 圧縮方法、論理回路、画像処理を理解しようとしている。</p>	<p>・指導事項 コンピュータとは何か、ソフトウェアの仕組み、デジタルデータの表現、画像処理のしくみ、圧縮、論理回路</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ソフトウェアの仕組みや論理回路、デジタルデータの取り扱いを理解し、それぞれの技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ソフトウェアの仕組みや論理回路、デジタルデータの取り扱いなど学んだ上で効率のよい表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトウェアの仕組みや論理回路、デジタルデータの取り扱いを学び、自分のやりたいことをその中から効率よく選択し、取り入れようとしている</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>10</p>
<p>3 学期</p>	<p>単元 モデル化とシュミレーション・プログラミング 【知識及び技能】 モデル化の仕組みやシュミレーション・プログラミングを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モデル化の仕組みやシュミレーション・プログラミングを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 モデル化の仕組みやシュミレーション・プログラミングを通じて自分自身の考えを具体化しようとしている。</p>	<p>・指導事項 アルゴリズムの表現、シュミレーションの手法、プログラムの基本構造、発展的なプログラム、</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 モデル化の仕組みやシュミレーション・プログラミングを理解し、それぞれの技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 モデル化の仕組みやシュミレーション・プログラミングの手順を考えて、効率のよい表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 モデル化の仕組みやシュミレーション・プログラミングを通じて具体的な手段を考えようとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>12</p>

